

未来への一歩

<編集・発行>

第二中学校 進路指導担当

井上貴志

「カコモン」を活用しよう！

三者面談も半分終わりました。面談が終わった人は、目標が決まって気持ちが1つに向きやすくなったのではないのでしょうか。そういう人にお勧めしたいのが「カコモン」です。漢字に直すと「過去問」です。入試という強い高い壁を登り切るには、壁がどんなものか知る必要があります。その情報がたっぷり含まれているのが「過去問」です。過去3年分を見てみると、出題の傾向が見えてきます。それが見えたらしめたものです。ぜひ一度は、自分が受検する高校の過去問に取り組んでほしいです。

まずは県立高校ですが、県内の公立高校はすべて同じ問題です。ただ、数学と英語は「A問題」「B問題」に分かれていますので、自分が受検する高校がどちらを選択していたのかを調べましょう（昨年のデータは職員室にあります）。本屋さんには「県立高校入試問題過去問集」として売ってあるので、それを利用するのもいいでしょう。

次に私立高校です。高校によっては自校のHPに掲載している場合があります。とっても親切ですね。そうでない場合は、本校に各高校の過去問集があるので、それを活用してください。借りたい人は担任の先生もしくは井上に伝えてください。できる限り対応します。

最後に高専です。高専もHPに掲載しています。本校にも過去問はあります。高専だけに数学系の問題は一度は事前に解いておくのがいいでしょう。要望があればお貸しします。

ここで大切なことは、解き終わるまるつけをした後に、**間違えた問題は必ずやり直しをすること**です。**間違えた問題に徹底的に向き合い解き方を習得する**のです。間違えた問題をほったらかしにしても何も得られません。

これから県模試を受ける人も多いと思いますが、過去問も活用してみたいはいかがでしょうか。

願書を書く練習をします

来週の前ですが、願書を書く練習をします。練習なのでシャーペンでいいです（本物には黒のボールペンを使います。フリクションペンは使えません）。最近の願書は、①紙に記入する方法、②Web入力、の2つの方法があります。自分に必要なものについて練習しましょう。そこで必要なのが、自分の家の住所および生年月日を正確に書けるか、ということです。生年月日はともかく、意外と住所を書けない人が多いです。事前に調べておきましょう。そして紙に記入する方法の場合、「**文字をていねいに書く**」ことを心がけてください。自分が行きたい高校なので、その気持ちを文字に乗せるのです。決して雑に書いてはいけません。一方Web入力の場合は、メールアドレス等が必要になります。ここで大切なことは、「自分で打ち込む」ことを心がけてください。ついお家の人まかせになりがちですが、自分の進路です。できる限り自分でやりましょう。

人生で初めて書く人も多いと思いますが、いい緊張感をもって臨みましょう。

【お知らせ】

県立高校の願書の保護者欄は、普通科以外は記入の必要がなくなりました。八代地区の県立高校では、八代高校と八代清流高校以外は記入しなくていいです。みなさんからお家の方にも知らせてください。

